

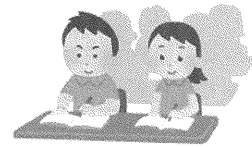
教育だより

発行：芦別市教育委員会学務課
☎0124-22-2641

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について

「全国学力・学習状況調査」は、毎年4月に文部科学省が小学校6年生と中学校3年生を対象に実施し、児童生徒の学力や学習状況を把握し、課題を見つけ改善を図ることを目的としています。

平成26年度に実施した本市の調査結果についてお知らせします。



■芦別市の子どもたちの学力の現状

小学校6年生は、一部全国平均を上回りましたが全体的に低い傾向にあります。

	結 果	○児童が得意とする問題
国 語	漢字等の読み・書きに関する問題では全国平均正答率をやや上回る結果となりましたが、知識の活用を図る問題は低い結果となっています。	① 道路の標識を見る。
		② 料理を乗せたサウを運ぶ。
		●児童が苦手とする問題
		③ 「百聞は一見にしかず」の使い方として正しいものは？ ア 野村さんは、先生の説明の始めの部分の部分を聞く結論まで見通せるらしい。百聞は一見にしかずということができるひとだ。 イ 私は夕日がい綺麗なこと有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。
算 数	図形に関する問題は全国平均正答率とほぼ同様の結果となりました。一方知識や技能の活用を図る問題は低い結果となっています。	○児童が得意とする問題
		④ 直径6センチメートルの円の円周を求める式と答えを書く。
		●児童が苦手とする問題
		⑤ $8m^2$ に16人いるAの部屋について、 $1m$ あたりの人数を求める式を書く。

中学校3年生は、国語・数学ともに全国平均正答率より低い結果となっています。

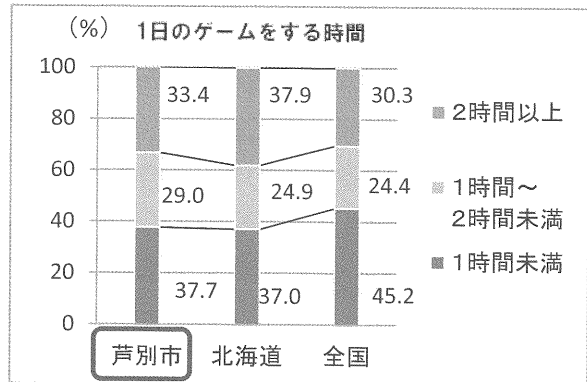
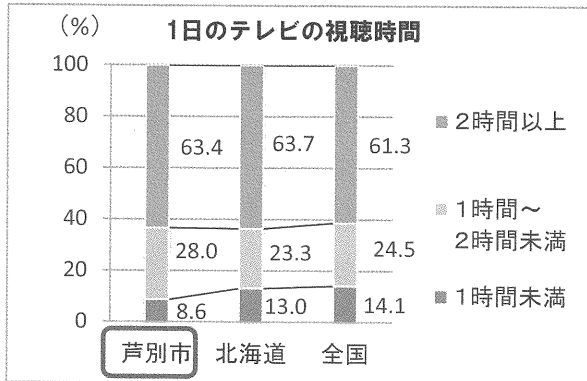
	結 果	○生徒が得意とする問題
国 語	漢字等の読み・書きに関する事項は全国・全道よりやや低く、その他は全国平均正答率と比較して低い結果となりました。	⑥ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いにする。⇒まうけて
		⑦ 新記録に挑む。
		●生徒が苦手とする問題
		⑧ 地域の人をショウタイする
数 学	基礎基本となる知識・技能を観点とした問題及び知識・技能の活用を図る問題では、全国平均正答率と比較して低い結果となっています。	○生徒が得意とする問題
		⑨ $10xy \div 5x$ を計算する。
		●生徒が苦手とする問題
		⑩ 「プールの深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く。

☆あなたも問題に挑戦してみよう！（答えは次のページ下段にあります。）

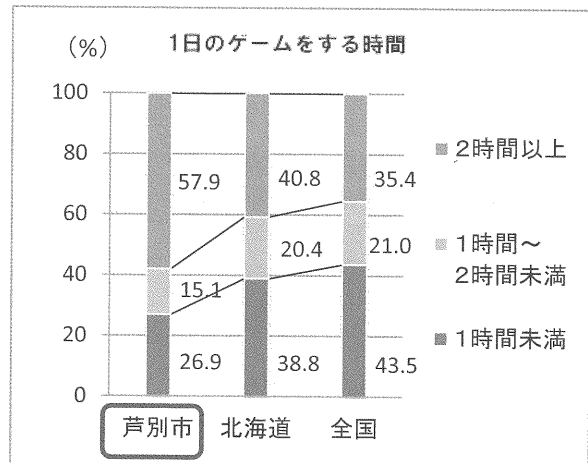
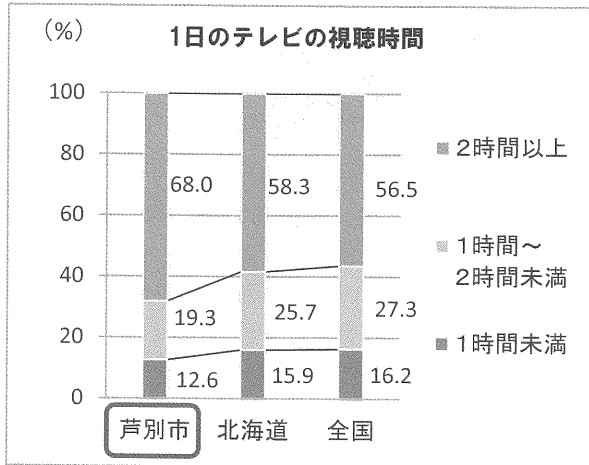
■子どもたちの学習・生活習慣の現状

小・中学生ともにテレビ・ゲームの時間が長く、学習時間が短い結果が表れています。

1 小学校6年生の生活習慣

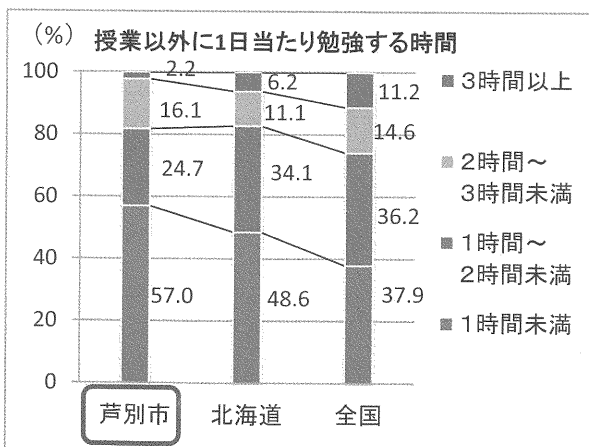


2 中学校3年生の生活習慣

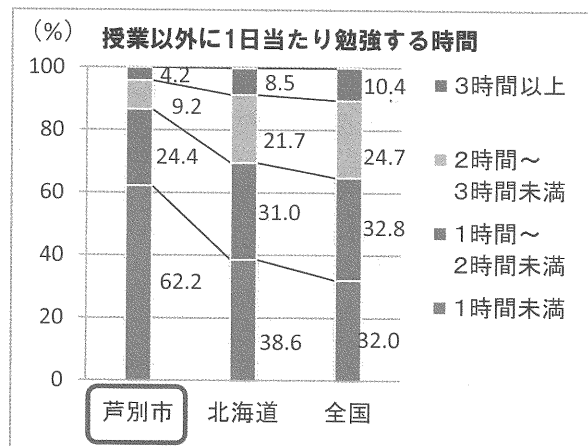


芦別市の子どもたちは、テレビを見る時間やゲームをする時間が全国に比べて長い傾向にあり、特に中学生のゲームやメディアに接する時間が長いことが課題です。

3 小学校6年生の学習習慣



4 中学校3年生の学習習慣



授業以外に、一日当たり1時間以上勉強する割合が、小学生、中学生ともに全国、全道に比べ低い状況にあります。家庭での学習時間の確保が課題です。

前ページの答え

①ひょうしき ②皿 ③イ ④ 6×3.14 、 18.84cm ⑤ $16 \div 8$ ⑥もうけて ⑦いど ⑧招待 ⑨ $2y$ ⑩ $x \leq 120$

■家庭での取組について

生活リズムを整える！

望ましい生活リズムの定着には本人の
がんばりだけでなく、家族の励ましが大
切です。「早寝・早起き・朝ごはん」の取
組を！

計画的に勉強に取り組む！

学力と生活習慣は深いつながりがありま
す。各家庭において計画を立てて家庭学
習を行うことが大切です。

親子のコミュニケーションを！

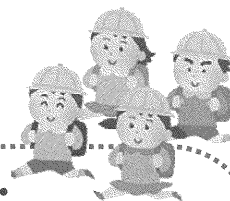
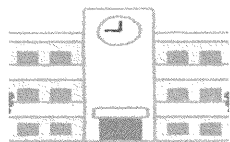
学校での出来事について話を聞き、励
まし、頑張りをほめることは、お子さん
の生きる自信につながり、成長にとって
大切です。

ゲーム・テレビは時間を決めて！

望ましい生活習慣を定着させるために
は、ルールを決めて、ゲームの時間やメ
ディアに触れる時間を見直しましょう。

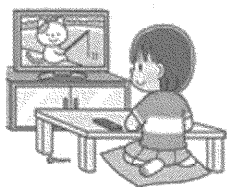
■学校・教育委員会での取組について

【学力向上を図るための取組】



- 複数教員による指導や習熟度別授業などによる、「わかる・できる・
楽しい授業」づくりを進め、学習意欲や基礎学力の向上を図ります。
- 「教職員研修」を開催し、授業改善や教育活動の充実に努めます。
- 「標準学力検査」や「全国学力・学習状況調査」の分析から、課題を把握し、改善
プランを立て、計画的に学校全体で学力向上に取り組みます。
- 小学校教育と中学校教育をなめらかに接続するため、相互に授業や教育活動の交流
を深め、学習指導等の一貫性を図るなどの取組を推進します。
- つまづき感のある児童生徒を支援するため、学習支援員を活用し、ていねいな指導
で理解力や思考力の向上を図ります。

【学習習慣・生活習慣の改善を図るための取組】



- 生活リズムを整えるため「生活リズムチェックシート」等を活用し、
学校と家庭が連携し、自ら時間と行動を管理できる力を育てます。
- 学習習慣を定着させるため「夏休み」や「冬休み」に、「学習会」を
開催し、有意義な長期休業となるよう推進します。
- 「読書」に親しむ習慣を身につけるため、図書館等と連携しながら、
朝学習における読書や、家庭での読書の充実に努めます。

全国学力・学習状況調査結果・芦別市における調査結果概要及び指導の改善策については、芦別
市のホームページに掲載しております。 <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/>

学力の向上を図るための取組を紹介します

芦別市小中連携協議会について

子どもたちが望ましい学校生活を送り、豊かな心と確かな学力を身につけるためには、小学校教育と中学校教育の一貫性のある9年間の教育が必要です。

特に思春期を迎える小学校高学年から中学校にかけては、心身の成長や変化が最も大きな時期でもあり、小学校と中学校にある段差を乗り越えるために小・中学校が互いに連携した教育を進めることが重要です。

本市では、平成26年度から「芦別市小中連携協議会」を設置し、教職員が「すべては子どもたちのために」という共通の思いを持ちながら、情報を共有したり、教職員の資質向上のための研修を実施しています。



先生方の研修の様子

9月27日（月）には、北海道立教育研究所から講師を招へいして小中連携の推進についてのセミナーを開催し、「学びの連続性を踏まえた校種間連携の推進」について、市内教職員が集まって熱心に受講しました。

通学合宿～望ましい生活習慣のために

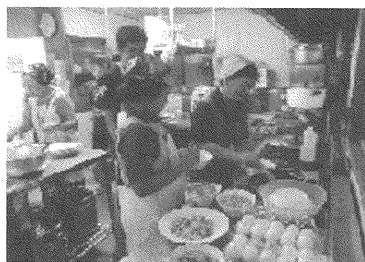
平成26年9月7日から12日までの6日間、市内の小学校4年生から6年生を対象に「あしべつ通学合宿」を実施しました。

通学合宿とは、宿泊交流センターを拠点として、家庭から離れ、共同生活をしながら規則正しい生活習慣や学習習慣を身につけ、通学する体験活動です。



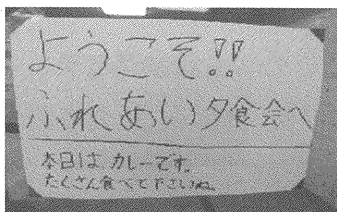
勉強も真剣に取り組みました！

参加した9名の児童は、地域の方の協力を得ながら一緒に食事を作ったり、昔ながらの遊びを体験したり、夜の学習時間には、教育委員会の専任指導員のもと、一時間しっかりと集中して学習に取り組むことができました。



大先輩に料理を教わりました！

うまく書けたでしょ☆



最終日には、「ふれあい夕食会」を企画して保護者や地域の方々を招待し、自分たちで作ったカレーライスを振るまい、楽しい時間を過ごし合宿を終えました。

保護者・地域・教育関係者の皆さまへ

この広報紙は、芦別市の教育の現状や課題、さまざまな政策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有化するものです。

子どもたちの「生きる力」の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-0011 芦別市北1条東2丁目4番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-22-2641 【ファックス】0124-22-3172 【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp